

成田営農経済センターだより

令和7年4月
TEL: 0465-38-0131



※**網掛け**の農薬につきましては医薬用外劇物となりますので購入時印鑑が必要となります。

【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除

4月上中旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100ℓ
黒星病 デランフロアブル (劇) 収穫14日前 2,000倍 2回 50ml/水100ℓ又は
ペンコゼブフロアブル 収穫21日前 1,000倍 3回 100ml/水100ℓ
アラムシ類・ケムシ類 ダントツ水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100ℓ
4月下旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100ℓ
黒星病 ストロビードライフフロアブル 収穫7日前 3回 3,000倍 33g/水100ℓ
カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 収穫7日前 2回
1,000倍 100ml/100ℓ
5月上旬 黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 収穫前日 3回 3,000倍 33g/水100ℓ

※かいよう病は降雨時に感染するので、降雨前の散布を心掛けましょう。

<黒星病の防除について>

黒星病の発生が非常に多くなっています！4月上中旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、今まで5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！

*2週間間隔で散布しましょう。

*前年の被害枝は切除しましょう。

摘 果 4月下旬～5月上旬

果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。

樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。

特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

【温州みかん・中晩柑】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除

4月上旬

○ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル又はスプレーオイル
100倍 1,000ml/水100ℓ

(ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要)(3月散布の場合は80倍)

※カイガラムシ類を多く見かけた場合は、アプロード水和剤 1,000倍 14日前 3回をマシン油に加用し散布しましょう

4月上中旬 (温州みかん)

○そうか病 デランフロアブル (劇) 収穫前30日 3回 1,000倍 100ml/水100ℓ
又は イデグリーン水和剤 500倍 200g/水100ℓ
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

※イデグリーン水和剤はマシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けてください。

※デランフロアブルはかぶれやすいので注意する。また、かぶれる人はイデグリーン水和剤を使用しましょう。そうか病は新芽が出そろった時期に散布しましょう。前年多発園では必ず散布しましょう。

【レモン】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

4月上旬 ○ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル又はスプレーオイル
100倍 1,000ml/水100ℓ
※カイガラムシ類を多く見かけた場合は、アブロード水和剤 1,000倍 14日前 3回を
マシン油に加用し散布しましょう

【キウイフルーツ】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。

4月中下旬 花腐細菌病・かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
カイガラムシ類・キイロヒメヨコバイ アブロードエースフロアブル 1,000倍
収穫前日 1回 100ml/水100ℓ

【水 稲】

塩水選 水10ℓに対してうるち種子は 塩2.15kg、もちは 塩1.26kgを目安としてください。
浮いたモミを取り除き、底に沈み充実した種モミを種子として使用します。

種子消毒 **塗抹処理**（農薬液と種子を一緒に混ぜ、種子に均等に付着させる方法）
種モミは十分に乾燥させ使用する。薬液量は種モミ重の3%で、種モミをかき混ぜながら薬液を垂らし
付着させる。処理後も薬剤の効力は持続するので、処理後貯蔵することも可能。
(例) 乾燥種子10kg 薬液300ml
(テクリードCフロアブル40ml + スミチオン乳剤3ml + 水257ml)

* 種子消毒には浸漬処理もありますが、農薬の廃液が生じない塗抹処理が望ましい。

浸 種

消毒済の種モミは、水切り後自然乾燥（水洗いはしない）し水道水に浸して催芽（ハト胸状態）させま
しょう。有効な水温は10℃以上です。目安は水温の積算温度100℃（20℃の場合5日）です。

播 種・出 芽

播種量：乾モミで150g～180g/箱

育苗土消毒 播種直前 1箱当たりナエファイン粉剤（6～8g）を土と混合する。

又は1箱あたりナエファインフロアブル（2000倍）の希釈液を500～1000ml
かん注し、その後播種する。

播種時 1箱あたりタチガレエースM液剤（1000倍）＋ダコニール1000（1000倍）
の混合液500mlをかん注し、その後播種する。

育苗肥料：20g/箱（育苗土に配合されている場合は必要なし）

温度管理：積算温度60～64℃で出芽させる。育苗器の場合、30℃で2～3日。

育苗管理

1cm程度出芽したら、平らに並べ育苗する。

昼間：20～25℃、夜間18℃程度で、概ね7日間で緑化させる。床土保温のため、箱を広げてすぐの夕
方のかん水はせず、急激な温度変化を避けましょう。

近年、温暖化の影響で天候不順が起きやすくなっており、育苗期間中の病害も発生しやすくなっていま
す。種子や培土の消毒、育苗期間の温度管理は徹底しましょう。

【か き】

病害虫防除 4月下旬～5月上旬

○カイガラムシ類・アザミウマ類

○落葉病

モスピラン顆粒水溶剤（劇）収穫前日 3回 4000倍 25g/100㎡

エムダイファー水和剤 収穫45日前 2回 650倍 153g/100㎡

【野 菜】

定植準備 3月下旬より

定植約1ヶ月前、苦土ワカと堆肥を施用し、よく耕耘して野菜苗の定植準備をしましょう。

購入した苗を定植する場合、栽培環境に慣らすためすぐに定植せず1週間程度は畑の近くに置いておきましょう。また、定植数日前にマルチをかけ地温を高めておくのと根の活着が良くなります。

元 肥 定植前に施しましょう。1aあたりの使用量

	ジシアンS 806	ようりん
キュウリ	15kg	4kg
	CDU燐加安S555号タマゴ	ようりん
トマト	7kg	5kg
ナス	8kg	4kg

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

成田営農経済センター営業時間について

決算棚卸業務のため下記の通り営業時間が変更になります。大変ご不便をお掛け致しますが組合員をはじめご利用者皆様のご理解、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和7年3月31日（月） 8時40分～12時00分

令和7年4月1日（火） 13時00分～16時00分

愛飲運動実施中！

4月1日より飲料をキャンペーン価格および送料無料で販売いたします。（10月末まで）

足柄茶リシール缶プレミアム 290ml × 24本 3,400円（3600円より200円引き）

梅の風 290ml × 24本 2,500円（2700円より200

円引き）

みかん畑100% 195g × 30本 3,500円（3650円より150

円引き）

足柄茶リシール缶（大） 490g × 24本 3,000円（3290円より290

円引き）

足柄茶リシール缶（小）	290g×24本	<u>2,790 円</u>	（3000 円より 210 円引き）
ほうじ茶	490g×24本	<u>3,000 円</u>	（3290 円より 290 円引き）
箱根山麗紅茶	490g×24本	<u>3,000 円</u>	（3290 円より 290 円引き）
湘南ゴールド飲料	290g×24本	<u>3,000 円</u>	（3500 円より 500 円引き）
湘南ゴールドスカッシュ	290ml×24本	<u>3,000 円</u>	（3500 円より 500 円引き）

ぜひ、この機会に各支店・センターへご注文をお願いします！

成田支店 36-3166 下府中支店 47-4831 酒匂支店 48-7881
 曾我の里支店 42-0747 国府津支店 47-4178 成田センター 38-0131

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の収集について

拝啓 組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃よりＪＡ事業につきましては、皆様方の深いご理解と格別なるご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて標記のこと、近年スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生が当支店管内でも確認されており、水稻苗への被害が懸念されています。

スクミリンゴガイは非常に繁殖力が旺盛で発生してしまったら完全撲滅は難しく、被害拡大を防ぐために継続した対策が必要です。発見したら捕殺（つぶす）するようにお願いしておりますが、死骸の悪臭やカラス等のいたずらによる生息地の拡大の危険性があるため、成田営農経済センターにて下記の日程で回収し、焼却施設へ持ち込みいたしますので、スクミリンゴガイを発見した場合は捕獲をお願い致します。

記

- 1. 収 集 日 令和7年6月2日（月）・9日（月）・16日（月）・23日（月）
 30日（月）
 7月7日（月）・14日（月）・22日（火）・28日（月）
 8月4日（月）・18日（月）9月1日（月）・8日（月）**

2. 収集時間 8時40分～12時（基本）

※時間に間に合わない場合は成田営農経済センターにご連絡ください。

3. 収集場所 成田営農経済センター

住所：小田原市成田802-1 TEL：0465-38-0131

【注意事項】

- ・スクミリングガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるため、捕獲の際はゴム手袋を着用し素手では触らないようにしましょう。
- ・個別回収は行いませんので、収集場所への持込をお願いします。

【お願い】

- ・持込の際は、水分をよく切ってから袋に入れ、袋の口をしっかりと閉じて持ってきて下さい。
- ・発生水田では捕獲と薬剤（スクミノン、スクミンベイト）併用での対策を図って下さい。
- ・畦畔等に生み付けられた卵塊を発見した場合は、潰して下さい。
- ・水田の水口、水尻にネットを取り付け、水田内への侵入や隣接する水田への被害拡大を防いで下さい。
- ・発生水田は冬季に耕うんを必ず行い、土中で越冬している貝を潰して下さい。